

寿商会は、フィガロ技研 アルコールチェッカー「FUGOsmart BT」と連携して計測結果を記録するアプリ「FUGOsync 15」をリリース

ローコード開発プラットフォーム「Claris FileMaker」(以下、FileMaker)に関連したサービスを提供し、Claris Platinum パートナーである株式会社寿商会(本社:石川県金沢市、代表取締役社長:若林孝)は、フィガロ技研株式会社(本社:大阪府箕面市、代表取締役社長:宇高利浩)が提供するアルコールチェッカー「FUGOsmart BT」と連携して計測結果を記録するアプリ「FUGOsync 15」をリリースしました。

製品概要

・ iPhone や iPad とフィガロ技研製アルコールチェッカー FUGOsmart BT を連携させて、あらゆる Web サービスやアプリへ計測結果を転送できる連携専用アプリです。App Store から 29,400 円で入手可能です。

製品の特徴

- ・ URL スキームを使って FUGOsmart BT とお客様のアプリやバックエンド (Web や DB など) サーバーの連携を行います。
- ・ 計測画面は Web サーバでホストされた HTML ページを表示し、URL スキームで計測動作や結果の受け渡しを行います。
- ・ GPS 情報の取得、カメラ (動画撮影)、計測開始タイミングや計測後の自動操作など、必要なパラメータのオプションを数多くご用意。
- ・ iOS 15, iPadOS 15 に対応 (4.7 インチ以上)。
- ・ アプリのカスタマイズやカスタム BtoB 配布にも個別対応可能。

FUGOsync 15 に関する詳細は、Web サイトにてご確認ください。

<https://kotovuki.co.jp/service/product/fugosync>

開発の背景

先日、警視庁より延期のパブリックコメントが公表されましたが、道路交通法施行規則改正により、アルコール検知器の使用が義務づけられます。アルコール検知器を用いて運転前後の酒気帯び確認をし、その記録を保存する必要があります。モバイルの環境で検査結果を取得してシステムへ記録するには、アルコール検知器とモバイル端末、モバイル端末と記録システムの 2 つの連携が必要です。とくに iPhone や iPad 環境において Bluetooth 通信を含むアプリ開発は難易度が高い開発です。本アプリはアルコール検知器と Bluetooth で連動する部分を搭載し、自由にお客様の記録システムへ検査結果を送信する機能を搭載しています。つまり、本アプリを使用すればかんたんな設定値を本アプリに設定するだけで、アプリ開発未経験者であってもアルコール検知器と記録システムを連携するシステムを構築することができるようになります。弊社では大阪メトロ様へのシステム納入・維持のノウハウをもとに、一般的なシステム開発者が苦手な部分だけを補うアプリとしてリリースすることで、アルコール検知器と連携した記録システムの開発者をサポートでき、急拡大するシステム需要に応える開発スピード向上に貢献できると考えています。

会社概要

株式会社寿商会

本社:石川県金沢市問屋町 2-82

設立:1947年8月

代表者:代表取締役社長 若林 孝

資本金:1,600万円

URL:<https://kotovuki.co.jp/>

本件に関するお問い合わせ

株式会社寿商会 システム開発部

問い合わせフォーム:<https://kotovuki.co.jp/inquiry>